

1. 基本情報

評価対象年度 (令和4 年度)

施策コード	522	施策名	組織の強化と業務変革の推進
将来像	5	都市格が高いまち(「しくみづくり」の分野)	
まちづくりの基本目標	52	職員が能力を発揮できる組織	
主担当部	経営政策部	主担当課	未来創造課

2. 施策の方向

10年後の姿	職員が自らの能力を最大限に発揮できる環境が整えられており、組織としての力を十分に生かすことによって、多様化・複雑化する行政課題に適切に対応しています。		
施策の方向性	1	適正な組織体制を整え、適正な人員配置を行います	
	2	必要な変革に勇気を持って取り組む市職員の組織文化を育てます	
	3	業務の効率化・情報化を推進します	
	4	個人情報の保護や情報セキュリティ対策の徹底、強化を図ります	

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

事務事業名	施策の方向性	担当課	令和4年度決算額
職員研修事業	3	未来創造課	8,505
情報システム管理運営事業	3、4	DX推進課	392,182
戸籍住民基本台帳事務事業	3	市民課	56,474
小学校運営管理事業	3、4	教育企画課	188,902
中学校運営管理事業	3、4	教育企画課	99,532
総事業費(施策の合計)			745,595

4. まちづくり指標

指標情報				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
①	名称	職員提案制度の提案件数		目標値	13	13	13	13	15
	説明	—	単位	件	実績値	10	10		
	抽出方法	所管課統計		達成率	76.9%	76.9%			
②	名称	情報セキュリティ研修の受講率		目標値	100	100	100	100	100
	説明	—	単位	%	実績値	100	100		
	抽出方法	所管課統計		達成率	100.0%	100.0%			

5. 評価(令和4年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	総合評価(成果、投入財源等を総合的に評価) 順調	<ul style="list-style-type: none"> ●行政手続きのオンライン化を進めるため、LoGoフォームを新たに導入した。市民から約1万件の申請手続きがあった。 ●庁内におけるRPAの業務範囲を広げ、年間2,157時間の業務時間の削減を図った。 ●「多様な働き方」を実現するため、タブレット端末を購入した。情報系に関する庁内すべての端末をタブレット端末に統一し、ペーパーレス化の推進など業務の効率化を図った。 ●マイナンバーカードをお持ちの方が、オンラインで転出届の申請ができるようになる「引越しワンストップサービス」を開始し、市民サービスの向上を図った。 ●マイナンバーカード申請サポート事業としてカード申請補助タブレット「マイナアシスト」による市内公共施設にて出張申請サポート開催。土曜日開庁の際にも申請サポートを行い、合計3,237件行った。 ●大規模な組織改正を実施したことにより、業務改善が図られた。

6. 施策を取り巻く環境

令和4年度からの変更点	DXの推進に伴い、全庁的なデジタル化の取り組みを更に加速していく必要がある。
-------------	--

7. 施策を進める上での課題

①	施策を進める上での課題	LoGoフォームの導入の拡大は図れたが、システムへのデータ入力業務などの直接的な削減まで図れている事業は限定される。
	課題に対する令和6年度以降の取組	BPRの実施に伴い、業務全体の効率化を図る。(RPAやAI-OCRの積極的な利用を図る)
②	施策を進める上での課題	国のDX推進計画に、システム標準化への対応が掲げられていたが、法律で令和7年度末までを期限としている。市としても遅延なく進めていくため、更なる検討が必要である。
	課題に対する令和6年度以降の取組	検討部会を中心に、令和7年度末までに計画的にシステム標準化に対応できるよう事業を進めていく。